

避難行動判定フロー

必ず
取組み
ましょう

避難行動判定フローに従い、「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

あなたがとるべき避難行動は？

防災マップで自宅がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

防災マップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、津久見市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、立退き避難（安全な場所へ移動）が必要です。

例外

浸水や土砂災害の危険があっても、以下のすべてを満たす場合は屋内安全確保（自宅にとどまり安全を確保すること）も可能です。

- ① 浸水や土砂災害により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である。
- ② 浸水する深さよりも高いところにいる。
- ③ 被災しても自力避難や救助がくるまで家族全員が耐えうる、水・食料などの備えが十分にある。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、津久見市が指定している指定避難所に避難しましょう。

（※明るいうち、安全な時に早めの事前避難を心がけましょう）

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル4避難指示が出たら、津久見市が指定している指定避難所に避難しましょう。

（※明るいうち、安全な時に早めの事前避難を心がけましょう）

※内閣府ホームページより一部を抜粋、編集して掲載

あなたがとるべき行動を知ったら

個別避難計画（個別台帳）／マイ・タイムラインを作りましょう（P14・15）